

# 第 11 回安中市行政改革審議会会議録（概要）

【日 時】平成20年 3月 3日（月）午前9時30分～12時00分

【場 所】市役所第201会議室

【出席委員】8名

【欠席委員】7名

【事務局】4名（総務部長、企画課長、行政管理係長、担当職員1名）

## 【配付資料】

会議次第

- 1 （たたき台）行政改革大綱
- 2 （たたき台）行政改革大綱実施計画
- 3 前回会議会議録
- 4 行政改革推進会議 会議要旨

## 【概 要】

1 開 会 司会進行：部長

2 挨拶 会長

配布資料確認：事務局

- ・資料1…前回会議、庁内会議の意見をふまえて修正したもの
- ・資料2…2/22に各課より報告された計画の項目のみ提示

3 協議事項 議長：会長

（1）行政改革大綱について

説明：事務局（資料1・資料2）

《行政改革大綱について》

表紙 副題（案）を提示

### I 策定の背景

#### 1 地方分権の進展

- ・市町村と住民の間の線の有無について、審議会と庁内会議の意見が分かれた。庁内会議で懸念されていた、行革大綱策定の直前まで線引きしていたという誤解を防ぐため、地方分権一括法について注記した上で線を記載
- ・右図（地方分権一括法施行後）を修正し、住民と市町村を国と県が支えるということを示す

#### 2 少子高齢化などの社会変化

- ・図-2 … 表-1を修正。レイアウトの都合で図-1と順番を変更
- ・図-3 … 棒グラフから帯グラフに修正
- ・図-4 … 表-1の出生率データに平成12年からの数値を追加し、修正

#### 3 厳しい財政状況

- ・3行目 … 前の文と重複しているという意見
- ・10行目 … 財政課による修正

- ・12行目～ … 審議会、庁内会議の意見を基に2つの案を作成  
案1：前回たたき台の表現を修正、数値記載したもの  
案2：庁内会議において、この部分だけ詳しい数値があるのはバランスが悪いという意見があり、財政課が修正したもの
- ・「投資的経費」を「物件費」に修正
- ・図－5 … 決算・予算額を表示。依存財源、自主財源の説明を凡例へ移動
- ・図－6 … 項目を減らし、棒グラフと折れ線グラフを併用

## II 行政改革推進項目

- 1 市民ニーズに的確に対応できる効率的な組織のために
  - ・タイトルが長いので短くした方が良いという意見があったが、反映されていないので検討を
  - ・6行目 … 「市民の皆さんと一緒に」という表現が重複しているので改めた方が良いという庁内会議の意見があった
- 2 簡素で効率的な組織整備のために
  - ・2行目 … 「優秀である」を「能力を十分に発揮する」に修正
  - ・7行目 … トップマネジメントの記述を修正。庁内会議ではトップマネジメントの記載は不要だという意見があった
  - ・(2) ② … 詳細を記載しボリュームアップした
- 3 健全な財政運営のために
  - ・3行目 庁内会議の意見を参考に財政課が修正
  - ・5行目 … 庁内会議で簡単すぎるという意見があり、PFIの記述を追加
  - ・(2) ③ … 「水道事業ガイドライン」を「地域水道ビジョン」に修正
  - ・(3) … 担当課より①、②の実施計画が1つにまとめて提出されたため、項目を削除する可能性がある

### 《行政改革大綱実施計画について》

- ・内容は表現の整理が必要との庁内会議の意見 → 3/14までに作り込みを行い、次回会議に提示する
  - ・実施計画については審議会の答申には含まれないが、大綱の実際の内容となるため、項目については行革審に承認してもらう必要がある
- 1 (1) ②－1 総合計画に合わせて「IT」を「ICT」に修正
    - ②－7 担当課から提出されたため項目追加
    - ③－1 既に実施しているため、掲載する必要なし → 削除
    - ③－6 7「地上派デジタル放送」部分を別立て
    - ⑤ (2)にも「その他の取組」が設定されたため、項目を残す
    - ⑤－4 2(4)③へ移動
  - (2) ②－1 具体的施設(集会所、文化会館)
    - ②－2 〃(すみれが丘聖苑、文化会館、生涯学習施設)
    - ②－3 担当課から提出されたため項目追加
    - ③ 項目追加
  - (3) ①－2 項目名称修正
    - ③ 現在未提出。2は提出される見込み
  - 2 (1) ①－2 「削減」を「減員」に修正
    - (4) ②－1 項目追加
      - ②－2, 3 項目名称修正

- ②-4 他で掲載しているため削除
- ③-1, 4 他で掲載しているため削除
- 3 (1) ①-3 行政評価等を進める中で行うものであり、公会計改革の項目ではないため削除
  - ④ 全体の見直しは未提出。文化センター、文化会館から各施設の見直しの報告あり
- (2) ① 上水道、病院から提出
  - ② 担当課により1～3を一本化
- (3) 担当課により①、②を一本化。分ける必要があれば依頼する

## 〈主な意見〉

### 表紙

- ・大綱の特色、重点的なものをサブタイトルにする。庁内会議での議論は  
←庁内会議では特に議論は無かった。今までの審議を基に案を作成。総合計画でも市民の参加や協働を掲げており、大綱でも意識している
- ・他に案があれば次回検討する

## I 策定の背景

### 1 地方分権の進展

- ・図が一般論であれば「県」は「都道府県」にしたほうが良い
- ・文中では「市民」となっているが、図に合わせて「住民」にした方が良いのでは

### 2 少子高齢化などの社会変化

- ・図-1の見出しについて、「将来人口（想定）」となっているが、過去のデータ（平成17年）もあるので、「人口の推移」等にしたほうが良い
- ・本文中に「想定人口」とあるが、推計方法は単純な「推計」なのか、推計した後に政策的に上乗せした「想定」なのか  
←総合計画の想定人口は国の推計人口を基に端数整理したもの
- ・行革大綱の特徴の中に総合計画との連携があるので、国の推計とほぼ同じだが、総合計画での想定人口を基にする

### 3 厳しい財政状況

- ・数値の記載の有無（案1、案2）について、他の部分との温度差はあるが、情報公開という面から考えると財政状況の見通しを明らかにするため、数値の記載がある案1が良い
- ・少子化高齢化の部分でも人口等の数値を示しているのも、バランスが悪くはない
- ・「特定企業」を「民間企業」にしては  
←大企業の影響を受けるという意味。全ての企業であればバランスが取れる
- ・「悪水準」という表現について、「厳しい水準」などに修正する
- ・実質公債費比率について、順位と絶対数（%）両方を記載する  
←県内の比較図を加えることも可能
- ・財政調整基金の数値について、19年度はあくまで予測であり、不確定なものは書くべきではない。取り崩し部分は数値を入れず、残高は入れる
- ・市民にとっては人件費、物件費は削減してもらいたいもので、投資的経費は必要なものである
- ・歳出の文章について、「市民ニーズ施策」と「総合計画事業」の並列表記はおかしい。少子高齢化の進行に伴う経費増大の中で、市民ニーズを踏まえながら総合計画の諸事業を行うということ

- ・文章の末尾に厳しい財政状況の中で政策の選択と集中が必要になるという記載を
- ・図－5について、平成21～23年度は予算ではなく予算見込みにすべき
- ・実質公債費比率について、概念が無かった平成17年度以前の数値は掲載可能か
- ・経常収支比率、実質公債費比率について、%での記載を

## II 行政改革推進項目

- 1 市民ニーズに的確に対応できる効率的な行政運営のために
  - ・「サービスを受けてきた市民の皆さん」について、限定して良いのか
  - ・2つ目の「市民の皆さんと一緒に検討し」を削除しては
  - ・ここだけ「市民の皆さん」となっているので違和感がある
- 2 簡素で効率的な組織整備のために
  - ・トップマネジメントはどの項目に反映されるのか
  - ←実施計画はまだ作成していない。(4)の①か③に入る見込み
  - ・「スピーディな、戦略的な意思決定」等、トップマネジメントが機能する組織体制づくりという表現を入れ、誤解の無いようにする
- 3 健全な財政運営のために
  - ・地方公営企業、第三セクターの経営の記述について、「PFI」ではなく「アウトソーシング」では
  - ・本文に合わせて項目の見出しに「経営の」を入れる

### (2) 今後の予定について

説明：事務局

- ・意見を基に修正し、大綱の最終案を作成
- ・実施計画は長期化するおそれ
- ・今月中に次回会議を開催

### (3) その他

## 4 その他

- ・会議録署名

## 5 閉 会